

早いもので夏休みを迎える日となりました。

まず夏休みについて。犯罪（被害、加害）に巻き込まれないように。盗撮、SNS、闇バイトなど。それから悩みがあったら先生や連絡できる機関など、専門の人に相談しましょう。皆さんは一人ではない。

緊張の新生活スタートからここまでを振り返り、今後のことを考えましょう。特に、高校3年生に激励をしたいと思います。

始業式に話したことは「？」をもとうでした。授業中に疑問を抱いていましたか。そして解決したときの「！」スッキリを積み重ねていきましょうと話しました。先生方にも「？」をどんどん与えてくださいとお願いしています。授業が受け身であると先生が送るパワーが生徒数で分散され、1/40になってしまいますが、主体的だと先生との1対1すなわち個別学習と同じなんです。学力は与えられるのではない、自らの意思で獲得する、日々の進歩実感という成功体験を積んでいきましょう。

1学期、生徒の皆さんを見てきました。七曜祭、野球応援は素晴らしかった。自分の役割を果たし、それを集めて同じ方向を向いてやれていました。下館一高の底力を垣間見ることができました。

本校は自主自立の校風といいますが、その真意は「自分だけでやれることは自分でやります」「そのうえで」「みんなと力を合わせて頑張る」だと思います。提案があります。再度この校風の真意をもって、頂を目指さないか。

学習での頂の指標として使われるものの一つに偏差値というものがあります。平均を50として表し、大きい数は上位、小さい数は下位を表します。

偏差値が高いといいのか。高校ならこの下館一高をみればそのままの答えです。大学は？茨城県内では半数の高校がこの春定員不足で2次募集を行いました。

様々な情報によるとこれより少し多い割合で4年制私大の定員不足が起きているようです。少子化を背景に、早期に総合型選抜等で入学生を確保する動きが起こっているとも言われています。

砂場で高い山を作ろうと思ったら、多くの砂を集めて、あとは人手が必要だと思います。山を将来的な成果、砂を知識、人手を自分にかかわってくれる人と解釈すると、国立大学が入試に多くの科目を科す理由は砂量だと解釈すると納得いくのではないのでしょうか。人手…学生が多く集う大学では言うまでもなく長所があると思います。

下館に赴任して思ったことがあります。「東京に近くないですか？」

しかも宇都宮線は湘南新宿ラインと上野東京ラインの2方向からアプローチができ、便利ですね。山手線付近には国立大も、有名私立もたくさんあるし、ローカルとグローバルの間に人と情報が集まる東京をはさんで、地元に住み、グローバルを学び、活躍する「シン・グローバル」にはうってつけの地域じゃないかなと思います。

国公立大学、私立大学、ともにメリットがある。どちらも正解の Twin peaks。将来像から逆算して選ぼう。どちらも希望者が多い難関大学を目指すことは価値がある！

そのためには傾向と対策ではない真の力を得るために、普段の授業から本番と同様に、疑問をもち臨機に対応する「？&！」を繰り返してください。やればできる！

有意義な夏休みを過ごしてください。